業界のタイムリーな情報をお手元に

ビルメン FUKUOKA

Access http://www.fukuoka-bma.jp

2008（平成20）年 7 Vol.175

編集・発行 社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号（藤田ビル2F） TEL.092（481）0431

「公益改革」を実現する

（社）福岡県ビルメンテナンス協会
会長 金子 誠

５月に開催しました２０年度定例総会におきましては、新法公益法人化に向けての方針（組織意思）を会員の皆さまの心強い賛同をもって確認させてもらうことができました。公益化に向けてのご理解とご支援に対し心より感謝申し上げます。

改革の三要素は意識改革・制度改革・業務改革と言われますが、その中でも一番困難な作業は意識の改革であろうと思われます。ここ２年、当協会の公益改革活動もこの意識改革にそのほとんどのエネルギーを注いできたといっても過言ではありません。なぜこれほどに意識の改革は難しいのでしょうか。それは既成の協会組織が20世紀の経済拡大（人口増加）の潮流に乗って発展してきたからに他なりません。経済拡大過程では、不況さえも次の進展の基になり得ました。そんなことは分かっていると反駁されそうですが、21世紀に入ってもその20世紀型経営手段を温存させている斯業企業はまだ多く残っているのではないでしょうか。2010年にはその潮流は方向転換（経済縮小：人口減少）し、明らかに逆流し始めます。経済政策レベルでは抗し難い大転換期を迎えることになります。制度疲労を起した20世紀型協会組織では、この新しい潮流に乗り出すことは困難を極めます。この激流を乗り切るための協会「構造改革」が、いま皆さんと取り組んでいる“公益改革”そのものであるとご理解頂ければ幸いです。

当協会の公益改革は公衆衛生の向上保全の事業を主軸として推し進めていますが、さらに社会の要請・期待は都市環境問題の解決者としての位置付けに向いているようです。今年の『都市ビル環境の日』行事は、都市温暖化防止概念をさらに進めて「街を冷やそう！」というテーマで実践論を展開しようと思います。

先の岩手宮城内陸地震の被災地を故郷とする童話作家・宮澤賢治の作品に「グスコーブドリの伝説」という寓話があります。主人公グスコーブドリは幼いときに飢饉に見舞われ一家離散の身の上となります。その後、成長し米農作になるのですが度重なる冷害で村は飢餓状態です。そんな折、科学者から火山が噴火すれば炭酸ガスが発生して気温が上がり、冷害を防げると聞き出します。彼は意を決して火山爆発の装置を携え、不帰の火口へと向かいました・・お気づきのことでしょう。現在地球環境問題の最大テーマである炭酸ガス削減とは正反対の物理現象をほんの70年前の我国は希求していたのです。この環境変化に要した時間は、人間の一世代単位の長さ（短さ）にしか過ぎません。私たちの成すべき仕事の残り時間を心に刻みながら「公益改革」に臨みます。どうぞ後押しのほどよろしくお願い致します。

平成20年度通常総会開催

（社）福岡県ビルメンテナンス協会
福岡県ビルメンテナンス政治連盟

（社）福岡県ビルメンテナンス協会及び福岡県ビルメンテナンス政治連盟平成20年度通常総会が平成20年5月27日（火）午後1時30分から、福岡市博多区福岡サンパレス2Fパレスルームにおいて、正会員149名（委任状提出者53名を含む）が出席して開催された。

定刻になり、司会者の仲前総務財政副委員長から本日の出席者は定款第22条に規定する定客数を満たし、総会は有効に成立する旨の報告があり、平成19年度総会以降に亡くなられた会員代表者を含む協会関係者の方々のご冥福を祈り黙祷を捧げ、古賀副会長の開会の辞で総会は始まった。

挨拶する
金子会長

まず、金子会長が挨拶に立ち、平成19年度の計画事業の全てが滞りなく終了したことを報告。会員各位、関係諸官庁並びに団体のご協力、ご支援に感謝の意を表したうえで、本年12月に施行される公益法人法に基づく公益社団法人化について特段のご理解、ご協力をお願いした。

ここで議長団に原槇義人氏［綜合システム管理（株）：福岡地区］、野田耕司氏［（株）東洋美装エスジー：北九州地区］、小泉孝志氏［（株）錦光ビルサービス：筑後地区］を選出、議案の審議に入った。提出5

議長団（向かって右より野田、原槇、小泉の各氏）

ご来賓の方々（向かって右より大隈、永尾、中村の各氏）

議案、慎重に審議されたが、何れも満場一致で可決承認された。

この後、新入会員の紹介を行い、一時、福岡県ビルメンテナンス政治連盟の総会に切り替え、午後5時から表彰式を行った。表彰式では、ご来賓に福岡県保健医療介護部　食の安全総合調整監兼保健衛生課長　大隈巧様、福岡労働局労働基準部安全課主任安全専門官永尾剛士様、それに県での直接の協会担当者である保健衛生課営業指導係主任技師　中村龍介様をお招きして、金子会長の挨拶の後、ご来賓よりご祝辞を頂戴し、まず福岡県建築物環境衛生功労者として、大隈課長より芳村

会場風景

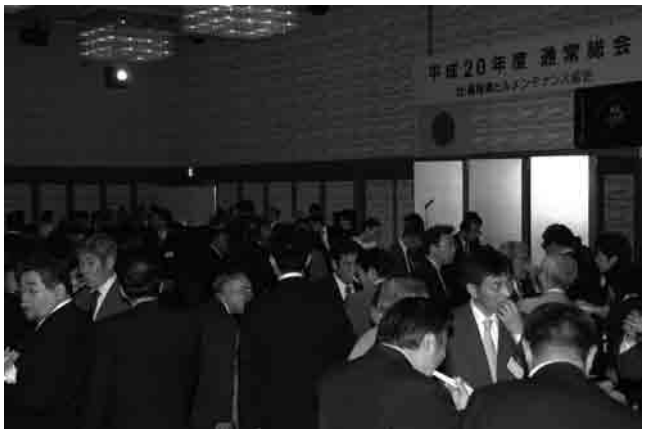
祝辞を述べられる大隈課長

吉之助氏［（社）福岡県ビルメンテナンス協会］と藤甲子郎氏［（株）西日本ビル代行］に対して知事感謝状が手渡された。次いで、昨年11月に行われた第10回全国ビルクリーニング技能競技大会に九州地区の代表として出場した野村悟史選手［（株）朝日ビルメンテナンス］と永田仁美選手［（株）ジェイアール西日本福岡メンテック］、それに3社から選ばれた8名の優良従事者の会長表彰を行い、受賞者を代表して武下尚生氏［九州ビルサービス（株）］が」謝辞を述べ、松岡副会長の閉会の辞で総会を滞りなく終えた。

引き続き懇親会に移り、顧問団の藤田、井上両県議会議員、福岡市議会議員懇談会の稲員、打越各市議、北九州市議会議員懇談会の木村市議などのご出席もあり、盛会裡に午後7時30分全てを終了した。

また、同日、同会場で午後4時から福岡県ビルメンテナンス政治連盟の平成20年度通常総会を開催し、井上俊勝氏［（株）ダイワス］が議長となり議案を審議、提出4議案全て原案通り可決承認された。

会長表彰受賞者の皆さん



懇親会風景

第10回 福岡県ビルクリーニング技能競技大会開催

第10回福岡県ビルクリーニング技能競技大会は、福岡県、福岡労働局、福岡職業能力開発協会の後援を得て、平成20年6月11日博多スターレーンにおいて8名の出場選手によって行われた。大会では、選手全員が日頃鍛え、磨いた技を精一杯競い、(株)富士メンテサービスの丸山仁さんと福岡興業(株)の川原正子さんの2名が11月に行われる九州大会への出場を決め、金子会長より認定証が交付された。

競技大会を終えて

事業委員長　梶山　英憲

第10回福岡県ビルクリーニング技能競技大会が盛会裡に終えましたことは、ひとえに関係各位の多大なるご尽力と参加されました選手及び事業主の皆さまのおかげであり、深く感謝申し上げますと共に、運営にあたっていただいた関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。

さて、本大会の目的である個々の技能の向上と業界全体の意識の高揚につきましては、改めて理解と認識を深めていただくことができたのではないかと思います。また、今回は博多高等学園から先生と生徒さんが30数名も見学に来られ、メモをとるなど熱心に見入っていました。選手の皆さんは4月にエントリーをし、ほんのわずかな練習期間で競技大会に出場されましたけれど、その間の努力は並大抵のことではなかったと拝察します。この間の努力を忘れず、今後の社業や人生に役立てていただき、ますますの研鑽と向上を切望する次第であります。

最後になりますが、栄えある県代表に認定された選手の皆さんは、本大会に出場された仲間の期待にも副えるよう努力し、今度は全国大会出場権を競う11月27日の九州大会に向けて精進されるよう祈念いたします。

競技大会審査にあたって

審査委員長　宮木　英一

まずは8名の選手の方々、本当にお疲れ様でした。第10回の区切りある大会において少数激戦となりました。参加された選手全員は、特に会場の独特の雰囲気にのまれ、作業準備から極度の緊張感がみられるなか、一生懸命練習の成果を発揮されていました。

今回は、全体的にポリッシャーの使用時の正確で安全な操作ができていないように思いました。特にコード捌きと洗剤の量、パッドの重なりが不十分ではなかったかと思います。また、バキュームの操作では、ウォンドの使用時に汚水を踏む箇所が多く見られました。モップ拭きのときはラーグが浮かなくて床面にしっかり当てむらのないように、姿勢・リズムをもって基本動作が正確にできた方が上位に残られたのではないでしょうか。

いずれにいたしましても、参加された8名の選手の方々は、この貴重な経験を会社・職場に持ち帰り、技能の研鑽と後輩の指導に励んでください。この技能競技大会に出場された人は、会社のトップの方、上司、同僚と多くの支えがあって出られたことと思います。これからも皆さんの周りの人たちとコミュニケーションを大切にしていただきたいと念じております。九州大会に出場される2名の方は、これから一層の努力をされ九州大会を優秀な成績で飾り、是非全国大会へのキップを手にしてください。

(株)富士メンテサービス
丸山　仁さん

次こそ、楽しもう!

まさか自分が。平成20年6月11日に行われたビルクリーニング技能競技大会の結果発表に驚きを隠せませんでした。と同時に、顔がほころびそうになるのを必死で我慢していました。「結果は結果」と周りの方々が励ましてくれ、競技を楽しもうと心がけていましたが、応援してくださる方々の気持ちに応えたいという想いから負けたくないと徐々に思い始めるようになっていました。

一昨年にビルクリーニング技能士の資格を取得した頃から上司に競技大会に出すと言われていましたが、まさか現実になるとは思ってもいませんでした。1年間のブランクもあり、練習再開時には行程を一から覚え直す始末で、本当に大丈夫か?と不安でなりませんでした。練習環境を提供してくださった方々、時間を作ってくれた先輩方には大変感謝しております。

大会前日まで不思議なほどリラックスでき、大会前夜もぐっすりと眠ることができました。しかし、当日になり業界関係者の方々が徐々に増え始め、案の定緊張はピークに。競技が始まっても緊張しどおしで、結局最後まで手足が震えていました。よくあの状態で大きな失敗もなく終えられたな、と思います。

九州大会では、県大会以上にプレッシャーと緊張に襲われるだろうと思います。頭の中が真っ白になっても体が勝手に動くというくらい練習を積み、大会に備えたいと思います。そして、次こそは楽しんでプレーしたいと思います。

これからまた暫くの間は周囲の方々にご迷惑をお掛けし、ご協力も頂くことになると思います。これからも宜しくお願い致します。そして、これまでの応援とご協力、本当にありがとうございました。

福岡興業(株)
川原　正子さん

走り続ける私

昔から何事も断ることを知らない私は、2年前の県大会の日に、「技能士の免許を取ったら大会に出るのよね」と言われて、「はい」と答えていました。性格的にスポットライトを浴びるのを嫌いじゃない私は、その当初はむしろウキウキしていました。

その年の10月から通信教育が始まりました。勉強が苦手な私にとっては、本を読み、辞書をひいて理解するのさえままならぬ苦痛の日々。人の3倍しないと受からないと早めの勉強を開始しました。なんとか課題という長い冬を越え、春が来て実技の練習。言われる通りにしようとしても思った以上に身体が動かない、機械の作動がうまくいかないなど、自分へのいらだちと不安。大丈夫だろうか、と練習をしない日は心配で、練習に行くとホッとしていました。

はっきり言って「したくないな」と思ったときもありました。しかし、指導してくれる上司、現場の人たちが、私に合わせて時間を作ってくれたり、厳しい言葉をかけてくれたり、励ましてくれるなど、ぜったい受からないと恩返しできないと思いました。プレッシャーとの闘いでした。一番不安だった学科が受かり、寒い冬に夏かなと思うほどの汗をかいた実技、私にもやっと春が来ました。

ある日、試験のことを忘れてしまいそうな位の頃、県大会の話を聞き、来るものこばまずの私の性格もあり、私に声を掛けてくれた今までお世話になった人たちの期待に少しでも応えようと出場を決意しました。人は一人では何もできません。周りの人の協力を得て練習に励み、全力を尽くすことができました。おかげ様で2位をいただくことができました。当日、自宅に帰り、時間が経つにつれて実感がわいてきました。「やった2位!!」。気がついたときは、友人に電話で報告。夕方のニュースに出るよと言いまくり、みんなからのおめでとうコール。嬉しくて嬉しくて、出てよかったと自分自身を誇りに思いました。やればできるんだ、ここまできました。

大会が終わったのではなく、九州大会の始まりです。県代表として選ばれた以上、こんなもんじゃないと自分に言い聞かせなければなりません。もっとお世話になる人たちが増えます。私のために再び時間を費やしてくれる人たち、会社のため、県のため、清掃をしている人たちに自信をつけるため、そして最終的に自分自身のために、九州大会で優勝を勝ちとれるように日々練習。イメージトレーニングを繰り返し、全国大会に進めるよう全力を尽くします。

公益法人への道『Q&A』

公益社団法人化特別委員会
座長　金子　誠（会長）

新公益法人関連三法の施行日までついに半年を切るという段階になり、世間の現行（民法）公益法人はその処し方をめぐって騒然となってきました。認定ガイドラインが決まってからじっくり考えればよいと高をくくっていた団体ほど“押っ取り刀”で対応に迫られているようです。確定ガイドラインは、総体的なコンプライアンスに関し想定以上に厳しいものを突きつけてきました。現状の延長線でもなんとか公益の人格を引き継いでいけるだろうという甘い考えは打ち砕かれました。既存の公益法人は、根底からその組織価値観を変革していかなければ改革公益法人の資格を得る事は能わないとはっきりしたのです。それでは一般社団でやって行けばよいではないかという話になりますが、そのような安直刹那的な意思決定で団体組織の行く末を決めていく法人に未来が開けているでしょうか。一般社団で行くなら行くで、相応の覚悟が求められる行革推進の大きな渦の直中に私たちは置かれていることを認識したいと思います。

Ｑ＆Ａその１６：ある運営委員の率直な疑問「全協の公益化論議やそれに伴う地方協会との関係性の説明を聞いていると結局全国協会組織は“縮んでいく”あるいは“壊れていく”というような印象しか持てない。これだけ大騒ぎして、とどのつまりは空中分解の算段をしているというのでは何のための公益改革なのか分からない。正直、不安な気持ちが強くなっている。座長、公益法人福岡の立ち方は間違ってないのでしょうね？」

座長回答：この運営委員の率直さを尊重しお答えしたい。質問前段の全協公益化問題に関しては来る７月上旬に全協公益法人制度改革対応特別委員会の主管で「公益法人法対応に関する九州地区説明会」が開催される予定であるので、その中での説明や質疑応答を通して疑義を確認させてもらう。その結果は、当コラムや定例懇話会で報告する。

《公益法人化に関わる福岡県協会の立ち位置について》

【右足】改革公益法人法の施行にあたり多くの団体はそのこと自体を組織危機（ピンチ）と捉えている趣があるが、福岡県は新法施行を千載一遇の“組織改革機会”（チャンス）と位置づけて公益化に取り組んだ。公益認定基準を乗り越えるべき障害（ハードル）と受動的に考えるのではなく、協会変革のテコ（スプリングボード）にしようと決断したところに福岡の能動性がある。

【左足】新法理念を照射するにあたって福岡はその視座を自分（業界論理）ではなく社会（ステークホルダー）に置いた。このことは業界共益と社会公益の取捨選択の大きな相克であったが、賢明なる福岡協会員は健全な危機感と旺盛な向上心をもって変革を支持した。

この両足の置き所が座長の自負する福岡の立ち姿である。この立ち位置が不安定であれば公益認定は組織目的化する。公益になって何をしたいかではなく、公益になること自体が目的になってしまう。そうなれば運良く公益法人になったとしても明日からやるべきことに窮する団体となりかねない。いま福岡は公益大地に両足を踏ん張って、十年先の社会を展望していると想像していただきたい。

第336回理事会報告

日　時　　平成20年5月27日（火）１５：２０～１５：５０
場　所　　サンパレスホテル
出席者　　金子、古賀(修)、松岡、青木、松延、藤、西田、梶山、梅野、古賀(久)、小松、高倉、中富、西、野原、結城、芳村 各理事
重藤、白水　各監事

議　題

審議事項

１．㈳全国ビルメンテナンス協会平成20年度通常総会代議員について

前年度同様、金子会長以下5名のメンバーについて承認した。

２．九州ビルメンテナンス協会平成20年度通常総会代議員について

各委員会より提出された23名のメンバーについて承認した。

なお、次年度福岡県での開催に備え加藤事務局長の陪席出席について併せ承認した。

３．平成20年度各委員会委員及び部会員について

提案通り承認。

但し、青年部の位置付けについて中富理事より、青年部会費の取扱について西理事より質問があり、不備については現状を把握し可及的早急に是正することとした。

４．新青年部員入部承認について

尤座　幹男(36)
綜合システム管理㈱　マネージャー
上記部員の入会について承認した。

報告事項

１．ビルクリーニング技能競技大会について
平成20年6月11日（水）10：00　～博多スターレーン

２．第38回福岡県ＢＭ協会ゴルフ会の開催について

３．九州ビルメンテナンス協会理事会報告

４．全国47都道府県協会長会議報告

第87回運営委員会報告

開催日　平成20年5月２７日(火)　12:00～13:10
場　所　福岡サンパレス　会議室
出席者　金子、古賀、松岡、西田、峰、仲前、松延、渡辺、後藤、谷川、梶山、西村(正)、藤、西村(象)、末吉、青木、重藤、白水、芳村、議長団(原槙、野田、小泉)、事務局加藤

協議事項

１．平成20年度通常総会の運営について(西田)

１，２号議案と、４，５号議案一括提案予定
了承

２．ビルクリーニング技能競技大会について(梶山)

６月１１日に開催　了承

３．㈳全国ビルメンテナンス協会
平成20年度通常総会代議員について(西田)

代議員案（平成19年度同様）
金子会長・古賀副会長・松岡副会長・西田総務財政委員長・松延労働対策委員長の出席について
了承

４．九州ビルメンテナンス協会
平成20年度通常総会代議員について(西田)

福岡県代議員数は２３人、議長団候補者として　藤甲子郎氏を候補者として推薦する。別途事務局長同行
了承

５．平成20年度各委員会委員及び部会委員について(西田)

今年度は１９年度の活動実績、出席率等により別紙の委員会名簿（案）で委員会を構成したい。　了承

６．全国公益法人協会「ガイドライン説明会」の出席について(西田)

6月13日（金）　受講料：3,500円(1名)
２名受講（西田総務財政委員長・加藤事務局長）。公益法人化のため是非受講したい。　承認

７．リスクアセスメント等普及促進3か年計画の周知について(松延)

全国協会でマニュアルを作成中であり、これに基づき労働対策委員会で普及促進計画を策定し、今後周知を図りたい。　了承

８．平成20年度緑十字賞候補者の推薦について(松延)

候補者の推薦基準が厳しいが、該当者があれば推薦願いたい。　了承

９．第38回福岡県ＢＭ協会ゴルフ会の開催について(藤)

平成20年7月8日（火）福岡カンツリー倶楽部で開催したい。　承認

10．新入青年部員入部承認について(西田)

尤座　幹雄（３６）
総合システム管理株式会社マネージャー　承認

11. 第17回世界ビルメンテナンス大会(アルゼンチン・ブエノスアイレス)日本代表団大会参加のご案内の対応について

2年に一度開催されているので会員に通知したい。

了承

12. その他

次回、新運営委員会は、6月17日14時より開催予定。各委員長はそれまでに一回年度方針の再確認等々行うこと。

了承

報告事項

1. 博多高等学園訪問について

5月13日に就労支援、そのための研修や実習の現状について松岡副会長、梶山事業委員長で視察に行った。県協会の主となる事業であり今後どのような事ができるのか20年度で検討したい。

承認

2. 九州ビルメンテナンス協会理事会報告

九州協会の公益化の現状について金子会長より報告。

3. 全国47都道府県協会長会議報告

今後の公益化について、全国の各協会は検討中

4. 経営研究委員会報告

最後の委員会になると思うが、5月1日に開催した。今後政治連盟の中に設置される予定の政策部会長に森永幸次郎氏、副部会長に谷川義行氏が就任予定。

その他

新旧青年部部長が6月1日に交替のため挨拶

（現）青年部長　山崎浩太郎氏

（新）青年部長　倉重一男氏

今月のマドンナさん

東洋ビル管理（株）**冨永 真菜** さん

（写真／向かって左）

年　齢／22歳
勤務年数／2年3カ月
モットー／いつも明るく
趣　味／ショッピング、映画鑑賞
特　技／バスケットボール

東洋ビル管理（株）**中村 優希子** さん

（写真／向かって右）

年　齢／24歳
勤務年数／2カ月
モットー／いつも元気に
趣　味／旅行
特　技／オーボエを吹くこと

会員に関する各種変更のお知らせ

株式会社 ケイアンドケイ

変更事項　所在地

変 更 日　平成20年6月16日

【新】〒815-0031　福岡市南区清水3-21-12
【旧】〒815-0041　福岡市南区野間3-8-21

電話・FAX番号の変更はありません。

毎週金曜日は知事登録業務相談窓口開設日です。

毎月10日は災害発生報告書提出締切日です。

7月 行事予定表

1	火	13：00～第18回公益社団法人化特別委員会　於：協会事務局会議室 15：00～第89回運営委員会　於：協会事務局会議室
8	火	清掃作業従事者研修会（基礎コース）　於：ももちパレス 第38回福岡県BM協会ゴルフ会　於：福岡カンツリー倶楽部
10	木	九州ビルメンテナンス協会 第43回定例総会　於：武雄センチュリーホテル
18	金	清掃作業従事者研修会（基礎コース）　於：北九州パレス 「都市ビル環境の日」第1回子ども絵画コンクール 応募受付〈9月12日（金）まで〉
25	金	(社)全国ビルメンテナンス協会 第44回通常総会　於：東京都